

令和元年 6 月 5 日
九州管区行政評価局**「高速基山バス停における乗り継ぎ時の利便性・安全性の向上に関する調査」の実施
- バリアフリー化の状況と高速バス利用者のニーズを調査 -**

- 九州の高速道路は鳥栖ジャンクション(以下「鳥栖JC」という。)付近で九州自動車道、大分自動車道及び長崎自動車道が交差しているが、高速バスの路線網は福岡市内のバスターミナルを中心に形成されていたため、一旦、路線・便数が多い福岡市まで移動して同市から各地域行きのバスに乗り継ぐことになっていました。しかし、福岡市内を経由すると、鳥栖 JC 付近からの時間と運賃が余計に必要でした。
- 九州地方整備局、高速バス事業者等は、鳥栖 JC の北側に位置している高速基山バス停の乗り継ぎの利便性を向上させるため、平成 19 年、同バス停に停車する高速バスを大幅に増便するとともに乗り換えのための施設・設備の整備や案内表示の充実等を図る社会実験を実施しています。同バス停に停車する高速バスは 1 日あたり 477 台であったものが、現在では 820 台にまで増加しており、平成 21 年 2 月には、同バス停に近い町道沿いにパークアンドライド駐車場が整備され、同バス停は九州を高速バスで移動する際の拠点となっています。
- 国土交通省は、「移動等円滑化の促進に関する基本方針」において令和 2 年度までに高速バス等の約 25%に車いす利用者の円滑な乗降が可能となる装置の導入等を掲げています。車いす利用者が円滑に移動するためには、九州を高速バスで移動する際の拠点である高速基山バス停のバリアフリー化も求められることとなります。しかし、高速基山バス停の乗り継ぎ経路には進入防止柵や勾配等があるため車いすに乗ったままの移動は不可能であり、高齢者や障害者においても移動に支障がある状況です。
- 総務省九州管区行政評価局(局長 吉武 久)は、九州を高速バスで移動する際の拠点である高速基山バス停を利用する高齢者、障害者等が円滑かつ安全に移動できる環境の整備を図るため、関係機関による施設の維持管理の状況やバス停等の利用者の意向を調査します。

調査対象機関:

九州地方整備局、九州運輸局、西日本高速
道路株式会社、地方公共団体、バス事業者等

調査実施期間:

令和元年 5 月～7 月(予定)

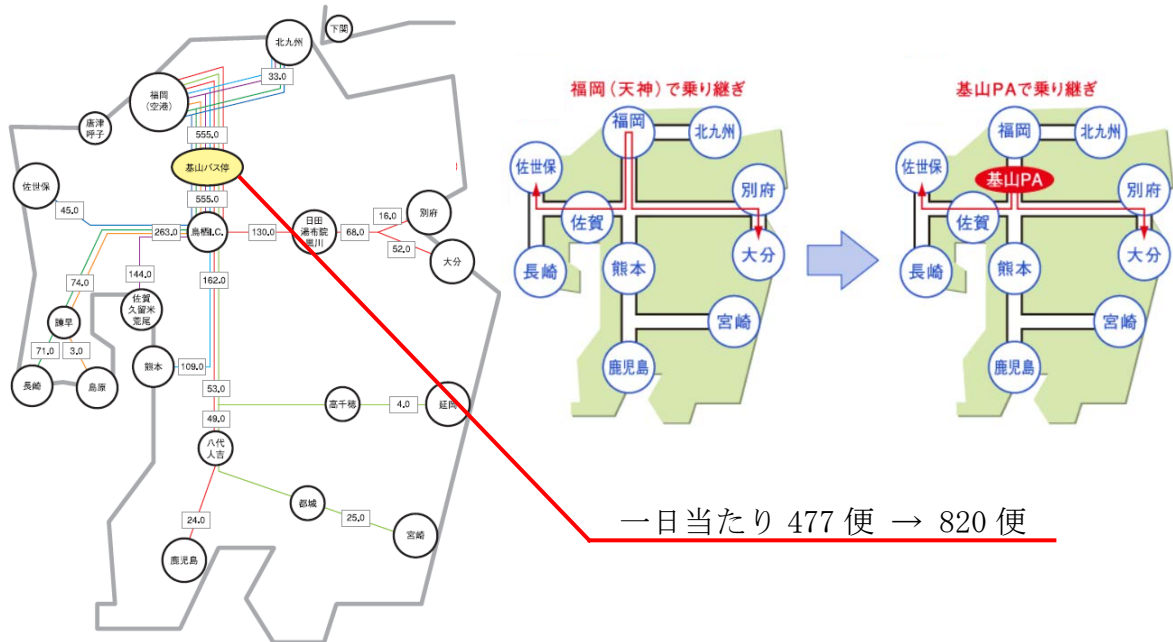
本件照会先

総務省九州管区行政評価局
評価監視部 第 5 評価監視官 大庭 具史
電話:092-431-7088(直通)
メール:ksy13@soumu.go.jp

〈別紙〉

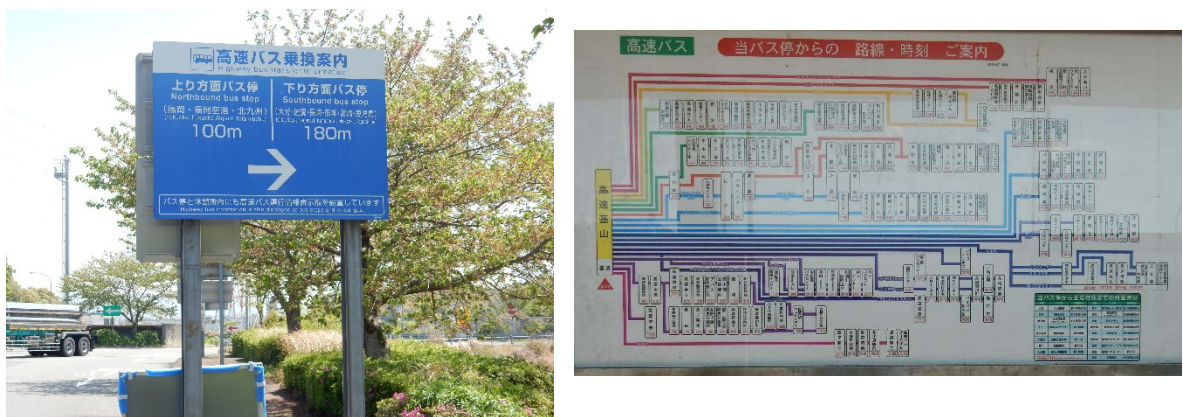
高速基山バス停における乗り継ぎ利便性向上の取組

図1 高速基山バス停を経由する九州の高速バスネットワーク

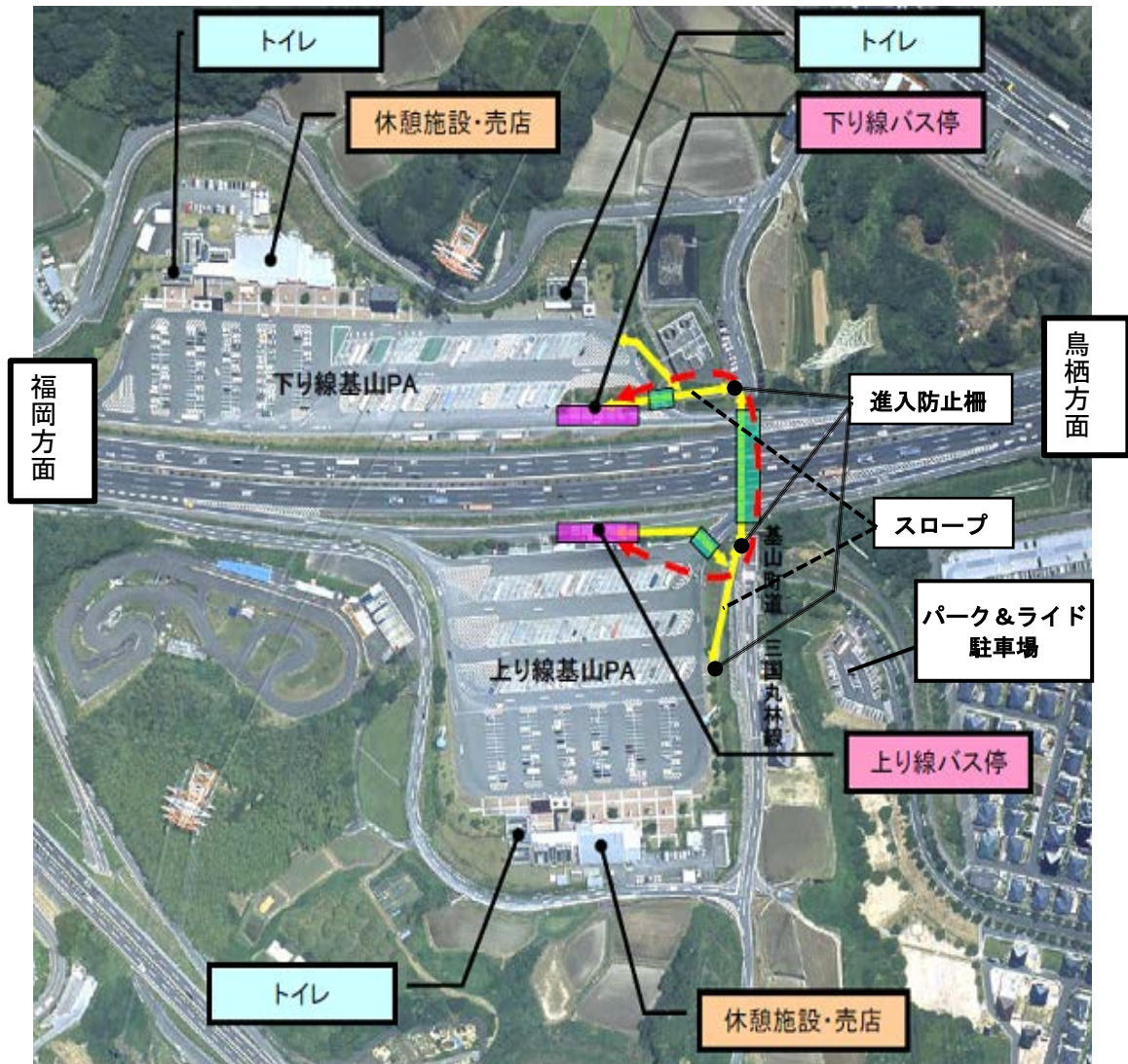


(注) 九州地方整備局ホームページから抜粋した図を当局が加工

図2 設置されている案内看板及び路線図



高速基山バス停の乗り継ぎ経路



↔ 高速バス停からの移動経路 経路のうちトンネル部分

(注) 乗り継ぎに係る社会実験（平成 19 年）当時の写真を加工した。

高速基山バス停出入口のスロープ及び進入防止柵

上りバス停の出入口



下りバス停出入口

